

**AVEX
GROUP
CSR
REPORT
2014**

2013.04.01 - 2014.03.31

エイベックスのCSRとは

めまぐるしく変化する社会の中で、
私たちは総合エンタテインメント企業として何ができるのだろうか、
常に考え続けてきました。

寄付やボランティアといった活動は、
エイベックス・グループとしても日常的に行っています。
でも、それは企業として当たり前のことだと思っています。

私たちの本業は、人々に感動を与えること。
共感を起し、希望を与え、生きる喜び、そして未来への夢を与えること。
誤解を恐れずに言えば、事業そのものがCSRなのかもしれません。

そのためには、エンタテインメントを創り出す人々の環境を整えること。
つまり、社員一人ひとりがいきいきと働けるエイベックスであり続けること。
それもCSRだといえるはずです。

私たちが持つすべてのノウハウを生かし、人の感情を揺さぶる、
エイベックスのエンタテインメントにしかできないCSRを追求していきます。

いつの時代も、一人ひとりに寄り添う、
エンタテインメントを。

エイベックスが 大切にしていること

WHAT WE TREASURE





WHAT WE TREASURE : エンタテインメント業界を支えるアーティスト

アーティストの人生をともに考え、活動方針に反映させています。

デビュー前のアーティスト育成について

エイベックスでは、デビュー前のアーティスト・タレント予備軍に対し、無料でレッスンやライブ、音楽制作支援などを行い、活動支援契約者としてデビューまでのエンタメ活動全般をバックアップしています。これを未来のエンタメ業界における優秀人材への投資とも考えて継続的に実施。現在は160名強が在籍(平均年齢18~19歳)し、2014年度中にこのなかから60名以上がデビューを予定しています。

半年に一回、全国5都市を育成担当者が回って、活動支援契約者とその親御さん同席のもと、スキルチェックと面談を行っています。そこではスキルアップ進捗の共有だけでなく、食生活やメンタル面の指導、未成年者については進路相談などもあわせて行います。アーティスト、ご家族、育成担当者、3者の信頼関係こそが最適な育成環境を構築すると考え、基本学力も保持しながらの“文芸両道”を目指しています。これは、活動支援契約者の人生の一部を背負っているという想いを強く持っているからです。

アーティストの前に人間としての教育

エンタテインメント教育は机上の学習とは異なり、人と人とのコミュニケーションのなかで進められていきます。仲間やライバル、クライアントや担当スタッフなど、たとえ若いアーティストでも大人としての対応を求められる場面も多く、“自分は誰に何を求められているのか”“自分の長所は何か”、などを強く意識しながら成長していきます。また、「人としての成長なくして人に感動を与えるエンタテイナーになることはできない」という考えから、レッスンよりも「教育」という観点を重視し、礼儀やあいさつ、感謝する気持ちなどの心得を提示。これらの教育を行うことにより、レッスンの場だけでなく普段の生活においても成長がみられたという話も、多くの親御さんにいただいています。

信頼関係の構築

オーディションやアカデミーに来る子どもたちは、エイベックス(アーティスト)のファンと考え接しています。つまり、技術をアップさせるためのプログラムはもとより、われわれスタッフが「将来を任されている」という想いをもち、常に親身に対応し、彼らの「憧れ」や「夢」を育んでいかなければなりません。たとえ当社と契約が結べなかった場合でも、たずさわったすべての子どもに日本のエンタメ業界を支える人材として活躍してほしいという想いをもち、しっかりと向き合っています。

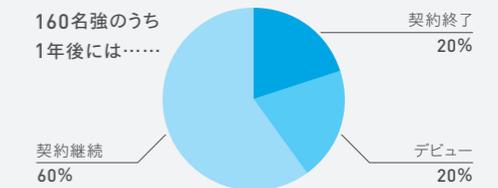
エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社
アーティスト開発育成統括部

エイベックス・プランニング&デベロップメント株式会社
aaaセクションaaa東京校

アーティストの発掘からデビューまで



活動支援契約者の内訳



活動契約支援者心得

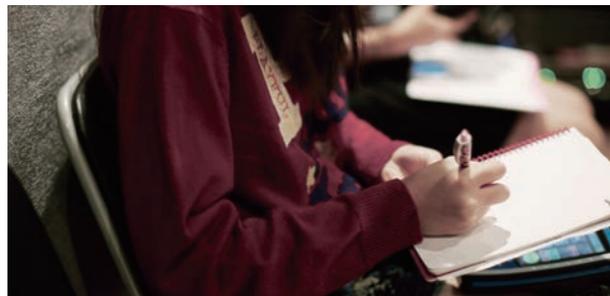
- ♥ 礼儀とあいさつを大切にすること
- ♥ 時間と約束を厳守すること
- ♥ 感謝の気持ちを持つこと
- ♥ レッスンに対する真面目な姿勢を持つこと
- ♥ 相談すること

双方に納得のいく契約を結ぶ

エイベックスとアーティストとの関係は、最初に交わされる契約内容がすべての基本となります。エイベックスには、アーティストの音楽部分のみを扱う「レコード会社」としての側面と、マネジメントを行う「マネジメント会社」としての側面があります。前者の場合、マネジメントはそのアーティストが所属する芸能事務所が行っていますが、エイベックスと詳細な契約を結んで活動を行う点は同じです。契約の内容としては、年間リリース枚数、売り出し方法、活動の環境整備など、エイベックスとアーティストが双方に専門知識を持つ代理人を立て、内容を吟味しています。万一どちらかに契約不履行があった場合には、契約が解除となる場合もありますが、そのようなことのないように日頃から双方で納得のいく話し合いを行い、関係構築に努めています。



01



アーティストの人生に寄り添う

エイベックスとアーティストは家族に近い存在でもあります。活動の結果生み出されたものは「商品」ですが、アーティスト個人とは、その人生に寄り添い活動スタイルを変化させていくなど、一人の人間としての関係性を構築しています。だからこそ徹底した法令遵守を求めており、反社会勢力とのつながりや薬物使用には厳しく対処しています。またアーティストが未成年の場合には、保護者の同意のもとに契約を締結しています。さらに、エイベックスでは、アーティストだけでなく、契約のタレント・俳優・スポーツ選手・クリエイターなどとも、同様に関係を構築しています。

 エイベックス・マネジメント株式会社
代表取締役社長



02

WHAT WE TREASURE : ユーザーの声

お客さまのご意見に真摯に耳を傾け、
現場で生の声を収集し、次なる戦略・改善につなげています。

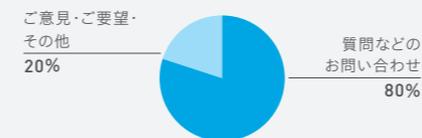
お客さまの声を蓄積する仕組み

お客さま対応の基本は、「エイベックスは問い合わせをすれば必ず返ってくる」と感じていただくことです。そのため、折り返しご連絡をするにしても、すぐに回答できるにしても、まず“ワンアクションを素早く行う”ことをモットーにお客さまに対応しています。エイベックスには毎日、電話やメールを通してたくさんの声が寄せられます。その数は、電話で月に約7千件、メールで約2万件にも及びます。これらのさまざまなご意見やご要望は、社内システムに毎朝アップロードし、全社員が閲覧できるようにしています。こうすることで、どんな

施策に対してお客さまからどのような声が寄せられたかを共有することができ、同種の施策に対して同様の問題が起きることを未然に防いでいます。またエイベックスは、運営を担うアーティストのファンクラブごとに個別電話回線を設けています。これは「問い合わせをしたいが、なかなか電話が繋がらない」というお客さまのご不満をできるだけ減らすことを目的としており、専用回線だけで20回線以上を設置しています。

 エイベックス・マーケティング株式会社
カスタマーサポート課

お客様から寄せられる声の内訳



お客様から寄せられる声の内訳



エイベックスの 継続的な取り組み

OUR CONTRIBUTIONS



社会への取り組み

OUR CONTRIBUTIONS : 01 ●●●

被災地への支援活動

OUR CONTRIBUTIONS : 01 ●●●

当社グループでは、「エンタテインメントを通じて感動や夢を届けたい」という想いのもと、東日本大震災の被災地への支援活動を続けています。これまでも「a-nation 東京公演」の無料パブリックビューイングを岩手県・宮城県・福島県のイトーヨーカドー6店舗で行ったほか、岩手県・宮城県・福島県・茨城県のコミュニティFM局35局に500タイトルのCDを寄贈してきました。2014年1月からは、南相馬市の小・中学校21校に、所属アーティストの音楽CDの寄贈を開始しました。今後も1カ月に3~5タイトルのCD寄贈を続けていきます。



2011年パブリックビューイング開催時の様子

学校給食プログラムへの支援

OUR CONTRIBUTIONS : 01 ●●●

「子どもを空腹のまま、学校に通わせてはならない」とのWFP(World Food Programme)の趣旨に賛同し、継続的に支援しています。具体的には、エイベックスビルに設置してある自動販売機で飲料を購入することで、1本につき10円がWFPに寄付されます。この取り組みは2010年より継続しており、2014年3月末時点で総額は5,875,730円となりました。

アジア諸国との交流・支援

OUR CONTRIBUTIONS : 01 ●●●

「アジアの子どもたちに夢やエンタテインメントを届けたい」という趣旨に賛同し、日本とアジアをつなぐ各種イベントにアーティスト出演協力や協賛を行いました。



アジア国際子ども映画祭

イベント

アジア国際子ども映画祭

子どもたちが自ら制作した3分間の映像作品をコンテストするイベントに協賛金を提供。「子どもの心に内視鏡を入れよう」という試みのもと、作品から見える子どもたちの想いを教育に活かすことも目的のひとつとしている。海外15カ国地域の子どもが来日し、交流も行う。

日・越ジャパンデー

日越外交関係樹立40周年という節目だった2013年、ベトナムで日本の文化を発信するイベントが行われ、日本食の紹介、宇宙飛行士 野口聡一氏の講演とともに、当社グループ所属の若手ピアニスト辻井伸行がベトナム初公演をハノイとホーチミンで行った。

日・ASEAN 音楽祭

日・ASEAN首脳会談を文化面から盛り上げるため、ホスト国という立場から日・ASEAN特別大使の杉良太郎氏が中心となり、各国の歌手を東京に招へい。NHKホールで音楽祭を開催し、海外数カ国でもその模様が放送された。当社グループ所属アーティストも出演。

次世代育成への取り組み

OUR CONTRIBUTIONS : 02 ● ● ●

中高生の職場訪問受け入れ

OUR CONTRIBUTIONS : 02 ● ● ●

当社グループでは、“職業としてのエンタテインメント”の魅力を伝えるべく、中高生の職場訪問を積極的に受け入れています。当社グループの歴史、音楽CDができるまでの流れや仕事内容、著作権法などについて、ビデオや資料を交えながら講義しています。2013年度は308校4,156名が全国から訪れました。

参加学生の声

VOICE たくさんの事業を行っていることに驚いた

VOICE 働いている人がみんなお洒落でイキイキしているようにみえた

VOICE ライヴの裏側の映像をみて、多くの人の力によってライブが運営されていることに驚いた

VOICE 「やっていたよかったな」と思える瞬間があることが素敵だと感じた

VOICE いろんな人と協力しないと、エンタメは生まれないということを学んだ

無料ダンス選手権の開催

OUR CONTRIBUTIONS : 02 ● ● ●

2012年度より中学校でダンスが必修科目となったことにともない、次世代を担う子どもたちがダンスの楽しさを少しでも感じられるよう、全国の中学校・高等学校のダンス部を対象とした選手権「DANCE CLUB CHAMPIONSHIP」を開催しました。本コンテストはエントリー費・来場費ともに無料で、ダンススキルを競い合うだけでなく、参加校が自分たちで決めた「漢字二文字」を表わすための、プログラム構成や表現力も審査の大きなポイントとしました。8月には、予選の映像審査を勝ち抜いた20校が全国から集まり、決勝大会を開催。ダンスへの想いをぶつけました。

(応募人数; 中学校=345名、高校=557名)

2013年度に実施したダンサー派遣

地域	主催	対象	人数	回数
大阪	あおい保育園	泉佐野民間保育士(13ヶ園参加)	128	1
埼玉	埼玉県女子体育連盟	埼玉県内小・中・高・特別支援学校の体育教員	60	1
青森	特定非営利活動法人スポレクダンスクラブ平川	青森近隣でインストラクターを目指す方	5	1
福岡	JSDA/福岡市教育委員会	福岡市小中学校体育教員	8	2
福島	福島県教育委員会	八沢小学校 全校生徒	88	3
埼玉	埼玉県女子体育連盟西部地区	埼玉県西部地区体育教員	20	1
福島	福島県教育委員会	高平小学校 全校生徒	112	2
福岡	柏原中学校	1年生対象	193	12
福岡	城西中学校	2年生対象	80	12
福岡	宮竹中学校	2年生対象	80	12
福岡	田村小学校	5年生対象	100	5

体育の授業にダンサーを派遣

OUR CONTRIBUTIONS : 02 ● ● ●

当社グループでは体育の授業にダンサーを派遣し、生徒にはダンスの楽しさを、先生にはダンスの指導法などをレクチャーしています。「エイベックス・アーティストアカデミー」の拠点のひとつである福岡では、市の教育委員会と連携して複数回の授業を実施。生徒自らが振りを考えてもらい発表会も行うなど、継続的な活動を行っています。



福島県でのダンス授業

著作権への取り組み

OUR CONTRIBUTIONS : 03 ● ● ●

「他人のものを盗むな」を基本に

OUR CONTRIBUTIONS : 03 ● ● ●

当社グループでは、コンプライアンスポリシー「自社の知的財産権を保護し、他者の知的財産権を尊重する」にのっとり、各種著作権への対応を行っています。映像・音楽商品の海賊版については、刑事・民事の両面から対応し、インターネットへの違法アップロードに対しては、法務部が日々インターネット上でチェックを行うとともに、社員や善良なファンの方からの報告を受けて、プロバイダに削除を依頼しています。それでも違法状態が続くようであれば、個人情

報の開示請求を経て、訴訟に踏み切るケースもあります。

著作権への啓蒙活動

OUR CONTRIBUTIONS : 03 ● ● ●

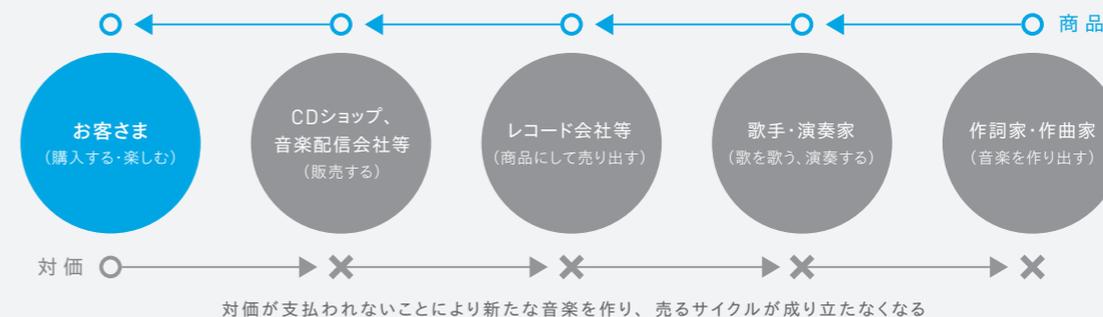
当社グループの著作権侵害対応だけではなく、当社グループが他者の権利を侵害していないかについても、でき得限りのチェックを行っています。これらの取り組みの背景には「音楽創造のサイクルを絶やさない」という、日本レコード協会を中心とした音楽業界全体に共通した考え方が

あります。商品が適正に販売できない状況にあれば、作詞・作曲家、アーティスト、レコード会社など、音楽にかかわる人々に正当な対価が支払われなくなってしまい、その結果、新しい音楽を生み出すことが難しくなってしまいます。そのため当社グループでも、著作権啓蒙ポスターの配布や、職場訪問で訪れた学生に著作権の重要性を伝える取り組みなどを行っています。



正規の音楽・映像配信サイトで表示される「エルマーク」

著作権侵害行為で、新しい音楽の創造が不可能に (参考: 一般社団法人日本レコード協会)



環境への取り組み

OUR CONTRIBUTIONS : 04 ●●●●●

本社ビルでの節電対応

OUR CONTRIBUTIONS : 04 ●●●●●

エイベックスの本社ビルでは、2011年の東日本大震災以降、震災前と比較して使用電力を20%削減する取り組みを続けています。本社前に設置している大型ビジョンは光度を20%下げること、電力を半分に抑制。そのほか、照明の間引き、ハロゲン照明のLED化、空調やエレベーターの制御運転なども行っています。



本社前に設置している大型ビジョン

エコキャップ収集活動

OUR CONTRIBUTIONS : 04 ●●●●●

当社グループでは2008年より、エコキャップ収集活動を行っています。この活動には社員や所属アーティストが参加し、現在までに444,259個のキャップを収集することができました(2008年8月~2014年1月末時点)。収集されたエコキャップはリサイ

クル事業者により回収され、その売却益が約550人分のポリオワクチン※1購入費用となり、JCV(NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会)※2より発展途国の子どもたちに届けられています。また、この数のキャップをゴミとして焼却した場合、

エコキャップがポリオワクチンになるまで

 **860**個
キャップ

 **20**円

 **1**人分
ポリオワクチン
(小児マヒ)



3,460kgのCO₂が発生することになるため、本活動は環境保全にも貢献しています。

※1 キャップ860個で20円=ポリオ(小児マヒ)ワクチンの一人分になります

※2 世界の子どもを感染症から守るためのワクチンを確保、完全予防対策を支援するための募金活動や、これに関する情報収集・普及活動を行うNPO法人

「aoyama christmas circus」の開催

OUR CONTRIBUTIONS : 04 ●●●●●

情報・流通の最先端である青山通りをクリスマスシーズンの名所にするを目指したイベント「aoyama christmas circus」を継続して開催しています。本社ビル前にイベントのシンボルとなる巨大ツリーを設置し、グリーン電力を使用した電飾で飾りつけました。今後も環境に配慮しながら地域の皆さまと連携し、心温まる「エンタテインメント」を届けていきます。



本社前のクリスマスツリー

CDパッケージでの環境活動

OUR CONTRIBUTIONS : 04 ●●●●●

「commons for GREEN」の合言葉のもと、名実ともにグリーンレーベルとして歩みはじめたcommons※1では、2008年より同レーベルでリリースしたすべてのパッケージ商品をカーボンオフセット※2 CDとしてリリースしています。なお、commonsオフィス内の照明はすべてグリーン電力を使用し、環境への配慮を行っています。

※1 坂本龍一をはじめとするアーティストたちが、音楽の新たな可能性を模索すべく、当社グループとともに設立した新プロジェクト。エコロジカルな視点を持ち、社会・文化貢献を目指す新しい音楽コミュニティとして、アーティスト/クリエイター、音楽産業、ユーザー/リスナーのよりよい関係を作るための「共有地 (commons)」となることを目的に活動

※2 日常生活において排出したCO₂をオフセット(相殺)するために、森づくりや自然エネルギーを導入すること



リリースされたカーボンオフセットCD

イベントでのエコ活動

OUR CONTRIBUTIONS : 04 ●●●●●

当社グループが毎年夏に開催している野外ライブイベント「a-nation」にて、エコステーション活動を実施しています。これは、コミュニティエリア内に設置したエコステーションにてゴミの回収を行っているもので、ゴミをお持ちくださった来場者にボンフィン(ミサンガ)をお渡しするもの

です。国立代々木競技場園地で行われた「a-nation island」では4カ所、「a-nation stadium fes.」を開催した長居スタジアムでは8カ所、味の素スタジアムでは6カ所のエコステーションを設置しました。回収したゴミは、可燃・不燃・ペットボトルとそのキャップ・ビン・缶に分別し、ペットボトルは帝人のリサイクル循環システムを活用し、次年度のエコボランティアユニフォームやボンフィンとして再生させています。

リサイクルの流れ



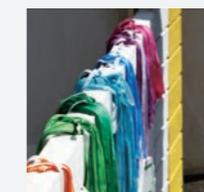
エコステーションにてお客さまからゴミを回収



リサイクルユニフォームを着たスタッフが、ゴミをお持ちいただいた方にボンフィンを配布



回収したゴミは分別され、ペットボトルは帝人松山工場へ



次年度のボンフィン・エコボランティアユニフォームに生まれかわる

働きやすい職場づくり

01 ワークライフバランスの推進

当社グループでは、働く女性が仕事と育児を両立しながら自己実現できる場を提供すべく、積極的な女性支援策を講じています。2013年度は、厚生労働大臣認可の次世代認定マーク「くるみん[※]」マークも取得しました。

※「くるみん」マークは子育てをサポートしている企業であることを示すものです



2013年度の産休取得者は16名、育児休業から復帰し育児と仕事を両立している女性社員は累計55名となり、合わせると女性社員全体の約1割となっています。近年での復職率は100%に近く、仕事と育児を両立する女性社員は年々増えています。そのような状況をふまえ、ライフイベントと仕事を両立する社員が継続してキャリア構築できることを目的に、ワーキングマザー向けの研修とその管理職に対して研修をそれぞれ実施。こちらには計48名が参加しました。また、最近では介護に関する相談も増えており、今後は介護休業者の増加も予測されます。今後は、ワーキングマザー向けの研修だけでなくさまざまな働き方に関する研修も予定しています。

参加者の声

VOICE それぞれのキャリア志向に応じたマネジメントを柔軟に対応していく必要があると改めて感じた。溝が生じないよう対話を心がけていきたいと思う(上司)

VOICE 上司・環境のギャップや隔たりが少しでも緩和され、より、輝いて仕事ができればと思います(時短勤務社員)

02 健康保険組合の設置

当社は2012年6月1日に、音楽、映像コンテンツなどを提供するエンタテインメント業界としては初めて、厚生労働大臣の認可を受け「エイベックス・グループ健康保険組合」を設立しました。これにより保険料や健康診断実施項目についても法的内容をさらに充実させた形で実施することができ、若い社員が多い当グループの実態に合った健康維持・増進の取り組みが可能となっています。(2013年度健康診断受診率:97%)

03 社員の健康促進

社員の健康促進、生活習慣病予防対策として、「朝ヨガレッスン」や「血液サラサラ検査」を実施しています。朝ヨガは、「健康のために運動は必要とはわかっている、毎日の業務に追われてなかなか体を動かせない」という社員の声をうけ、始業前の時間を有効活用して開催。外部インストラクターの方をお招きして1月に2回開催し、計35名が参加しました。また2013年度に4回実施した「血液サラサラ検査」には計120名が参加。指先から採取した血液を外部の保健師とともに自分の目で確認、食事や生活習慣についての簡単なアドバイスもいただきました。



朝ヨガレッスンの様子

04 障がい者雇用・支援

当社グループでは2008年より、障がい者アスリートを積極的に雇用しています。企業の社会的責任としての法定雇用率の達成はもとより、さまざまな感動体験を創造してきたエイベックスが、エイベックスらしく障がいのある方を支援できる形を模索した結果が、この取り組みにつながっています。現在では7分野12名の選手が在籍しており、2014年にソチで開催されたパラリンピックにも3名が出場し、好成績を残しました。



田中 佳子
©PARAPHOTO/YUKI Higa

東海 将彦
©PARAPHOTO/YUKI Higa

佐藤 圭一
©STAND/竹見脩吾

人材雇用の状況(国内)

従業員数(正社員)	男性/女性/計	876名/510名/1,386名
障がい者雇用者率		2.03%
平均年齢	男性/女性/計	39.0歳/34.68歳/37.41歳
平均勤続年数	男性/女性/計	9.06年/7.46年/8.47年

2013年度研修一覧

種類	対象者	名称・内容
階層別研修	新任管理職	新任課長職(マネジメント・リーダーシップ基礎)研修
	新卒入社4年目	新卒4年目研修
	定期採用内定者/新入社員	内定者・新入社員研修
知識・スキル系 (任意参加中心)	全社員(一部部署限定)・希望者	デジタルマーケティング研修 ①動画サービス3社 ②ビッグデータ ③顧客関係管理
	全社員・希望者	エンタメビジネス講習会
	入社3年以上かつ34歳以下の一般職(希望者)	ロジカル・シンキング研修
	一部グループ会社	制作倫理講習会
その他	中途入社者	中途入社者オリエンテーション(eラーニング)
	中途入社者	中途入社者ランチ交流会
	新卒育成担当者	トレーナー研修 (新人配属後約半年間をトレーナー制度期間とし継続的に研修・交流会)

エイベックスが守るべきルールとして

コンプライアンスポリシー

エイベックスでは、以下のコンプライアンスポリシーを、すべての行動・判断の基準に据え、事業活動を行っています。

インチキするな。

1. 公正、透明、自由な企業間競争を行う。
2. 会社の正当な利益に反して、自己や第三者の利益を図るような行為を行わない。
3. 営業活動において、不正な手段は用いない。

弱いものイジメするな。

1. 人権を尊重し、差別につながる行為を行わない。
2. 取引先に対しては、良識と誠実さをもって接し、公平かつ公正に扱う。

人の金で遊ぶな。

取引先等と健全な商慣習や社会的常識を逸脱した交際をしない。

ウソつくな。

1. 情報を的確に開示する。
2. 適正な宣伝・広告をする。

勘違いするな。

法令を遵守し、社会規範を尊重する。

無駄づかいするな。

環境問題の重要性を認識し、会社の資産は有効に活用する。

ひと 他人のものを盗むな。

自社の知的財産権を保護し、他者の知的財産権を尊重する。

「力」に頼るな。

1. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体との関係を持たない。
2. 政治、行政と透明度が高い関係を構築する。

抜け駆けするな。

1. 仲間に支えられている自分、仲間を支えている自分を意識する。
2. インサイダー取引をしてはならない。

仲間を裏切るな。

1. 信用・信頼・名誉を損なう行動や発言をしない。
2. 企業秘密・個人情報適切に管理し、無断で会社外に開示・漏洩しない

チームとしての誇りを。

1. 従業員が働きやすい職場環境を実現する。
2. 「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行う。

そして、
才能に愛と賞賛を。

(決して嫉妬ではなく)

※コンプライアンスポリシー全文、コーポレート・ガバナンスはWEBをご覧ください。

MOVE THE WORLD



エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社

<http://www.avex.co.jp/>

